

自己評価結果公表シート（令和4年度）

学校法人 明和学園 明和幼稚園

1. 本園の教育目標

明るく、正しく、和やかな人間形成を目指し、自立の精神を以て何事にも丁寧を経験していくことを方針としている。楽しいこと、悲しいこと、しんどい事。それらの一つひとつを「ていねいに、ていねいに」経験を積み重ね、一人ひとりの個性を大切に、いきいきとした子どもを育む。

満3歳児…少人数のクラスで、1人ひとりの子どもの発見や気づきを共感し、豊かな経験を積み重ねる。

年少組…4人の担任で、子ども達が安心して集団生活をいつもニコニコ笑顔で過ごせるように、子ども達それぞれの個性や感性を大切に育む。

年中組…自分と相手（友達）の存在を大切に、皆と力を合わせることで、満足感や充実感を得ていく。

年長組…自分で考え、活動を見出す年長組。様々な経験を通して自立を促す。周りへの思いやりや理解を育む。

2. 本年度、重点的に取り組む目標。及び取り組み結果

- 子どもの心身の健やかな成長の為に、前年度の反省を生かしながら指導計画を見直し改善していく。
- ・職員の就業時間の改善。働き方の見直しを行う。これまで取得しきれていなかった有給休暇を通常保育日にも積極的に取りながら、園児や保護者へ不安にさせることのないように努める。普段から担任以外の教員も保育をしているからこそ出来たと感じる。教員同士もお互いの希望を聞きながら交代で有休を取得するなどの工夫を行った。
 - ・昨年度に引き続き《れんらくアプリ》により業務効率の向上を図る。《らくらく検温》システムを導入し、手書きで行っていた検温のチェックをアプリで行った。保育計画をれんらくアプリで管理することで、手書きの手間を減らしデータ管理に移行した。
 - ・《Dropbox》を使用し、各クラス iPad で確認できるようにするなど業務効率の向上を図る。
 - ・新型コロナウイルスの情報を集め、子どもの安全を保障するための方策を講じる。
通用門では来園者への手指消毒、園内の消毒作業・清掃作業を徹底し感染症対策に努めた。それと共に with コロナへ向けての緩和措置を行い、行事の人数制限の緩和や保育参観などで、保護者にも保育の様子をご覧いただくことが出来た。
 - ・特色教育である自然に触れることや絵本など、さらに深められるように努めた。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
指導計画	<ul style="list-style-type: none"> ・過去の指導案の見直しや話し合いによって、子どもの発達や季節に応じた年間計画、月案、週案を作成・確認し、保育に取り組んでいる。 ・入園する前には必ず未就園児クラスを経験し、幼稚園に慣れていただく事に徹した。その結果、途中からのお子様との関わりの時間が多くなり、当初からの子どもへ思うように向き合えなかったこともあり、もっとゆったりとした保育がしたいと感じた。しかしながら、一人ひとりが良い経験を積み、幼稚園という環境に少しでも慣れた事で4月の入園の際に子ども達が安心感を持って登園出来るように感じた。今後も改善しながら2、3月にも受け入れていきたい。 ・園児の様子を観察することで、保育室の環境を変えたり、必要だと感じるおもちゃを手作りしたことで、寄り添うことができた。 ・幼稚園で咲いたお花を使い、色水遊びや種取り、染め物活動へと発展させる充実した活動が出来た。全園児が自発的に色水遊びを楽しむ姿が見られたことは非常に良い成果であった。
職員の共通理解	<ul style="list-style-type: none"> ・Google ドキュメントを使用し、朝礼ノートや会議の議事録を作成し共有した。それにより、常勤、非常勤に関わらず、全員が把握することが出来た。 ・手書きで作成していた文書や指導案をデータ作成に移行した。細かく準備物やタイムスケジュールを考え、よりスムーズに保育が行えるよう作成した。役割分担を明確にして、保育を進めている。 ・保育内容によって効率的に保育室・ホールを使用できるよう時間割を設定し、共有アプリを使って管理している。
家庭との連携強化とニーズの把握	<ul style="list-style-type: none"> ・《おうちえん》で、保育の様子を写真や動画で配信を続けた。各クラスの取り組みや園での行事をご覧いただくことで、家庭と園との繋がりに努めた。 ・個人懇談会では、保護者から園児の家庭での様子を聞き、園でのエピソードを通じて、保育方針の説明や協力をお願いする。 ・父母の会役員さんとの話し合いで情報交換をしながら、保護者のニーズを聞き、改善するよう努めた。
安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・登降園時には、必ず職員が通用門と駐輪場に立ち、園児、保護者の安全に気を配っている。 ・防犯カメラや ALSOK との連携、県警ホットラインで園児の安全を確保しているほか、日頃から園内の安全点検をして、園児が怪我をしないように（危険の排除、怪我をした際の記録・原因究明・再発防止策）を講じている。 ・夏期休業中には ALSOK の方に来ていただき、さすまたの研修を行った。 ・危機管理マニュアルを見直し、来訪者（不審者）の予防対応、感染症・食中毒の予防対応を追記し作成した。 ・静岡のバスの事故を受けて、万が一に備え、《たすけてボタン》を設置し、子ども達に指導した。 ・園児・保護者・教員の心のケアのため、キンダーカウンセラーに定期的に来ていただき、助言をいただいている。夏期休業中には教員向けに研修を行った。

	・アレルギー委員会を定期的に行い、安全で確実な給食提供をした。
--	---------------------------------

4. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
指導計画	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びが遊びこめるよう“やってみたら出来た！！”“次もやってみよう！！”と思える気持ちが芽生える声かけ、心の成長をサポートしたい。 ・子ども達と向き合う、ゆったりとした時間を作る。まだ教員自身も経験した事のない事や苦手意識のある取り組みに挑戦する。教員自身が興味のあること、好きなことは子ども達と共に共感し、楽しみながら保育を更に深める。 ・従来のやり方に囚われることなく、柔軟な発想を持ち常にチャレンジしていきたい。 ・子どもの主体的な姿を大切に、1人ひとりに寄り添う保育を行いたい。そのためには普段より多くの子どもに接し、性格を知る必要がある。何を見て、何を感じ、何を考えているのか思いを馳せられるよう努めていく。 ・コロナ禍で自粛していたピアノ指導を再開。歌唱や合奏など、子ども達が笑顔で取り組める活動を更に増やしていきたい。 ・リトミックの有資格者が増えたことで、リトミック活動の充実を図りたい。 ・ひらがなの読み書きがまだまだ出来ない子どもが増えたように感じる。絵本に触れる機会をさらに増やし、楽しみながら興味を持ってもらえるよう保育計画を考える。 ・楽しく身体を動かし、体幹を鍛えられるような保育メニューを取り入れたい。 ・延長保育でも子ども達に向き合えるような保育を考え、取り入れていきたい。
職員の共通理解	<ul style="list-style-type: none"> ・LINEやGoogleドキュメントで共有することで、職員全員の共通理解を引き続き効率的に行う。 ・未就園児クラス教員、フリー教員と在園児クラスへの協力要請、連携をスムーズに行いたい。 ・広い視野を持ち、担任一人で抱え込むことなく、周りへの相談・協力を仰ぐ環境を作りたい。フリー職員・在園児クラス職員への情報の共有が課題である。 ・自身の仕事だけではなく、俯瞰的に物事を観察し、効率的に他学年の仕事・全体の仕事が円滑に進められるように過ごしたい。 ・学年や担当の違いによる業務負担の差を出来る限り解消したい。
家庭との連携強化とニーズの把握	<ul style="list-style-type: none"> ・教育方針や特色教育を《れんらくアプリ》《おうちえん》《ホームページ》などで、わかりやすく伝えていく。父母の会役員の方を通して保護者のニーズや満足度を把握し、保育や行事の内容を考える際の検討材料にしていきたい。 ・おうちえんでの配信に、絵本・給食・親子学級などの配信を増やし、園の様子をご覧いただく機会を作る。 ・園児1人ひとりの行動に目を配り、日々の保育の様子を保護者に丁寧に伝えていけるよう、保護者とのコミュニケーションを深めていきたい。
安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な避難訓練を今後も継続実施し、更なる防災意識の向上を図るとともに研

	<p>修を行い、防災用品の点検、補充など、安全対策を図っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスの安全確保の為の方策を講じる。 ・子ども達の主体性を育む、自立に向けた保育環境を作るために、声掛けの仕方や教員の配置を話し合い、心の成長に目を向ける。 ・キンダーカウンセラーの相談を継続し、園児の様子を見ていただく。同時に園児との関わり方について、教員に助言をいただきより良い保育を目指す。 ・キンダーカウンセラーに保護者の悩みを気軽に相談できる環境を作っていきたい。 ・コロナ禍に行っていた消毒は簡素化するが、今後も園内美化の為、清潔に保つことは続けていく。
--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

5. 学校関係者の評価

<ul style="list-style-type: none"> ・職員が真摯に自己点検・評価に取り組んでいる様子が伺える。今後も保護者との連携と情報交換をしながら、安心安全で子どもが楽しく取り組める保育を実践できるように、努力を続けてほしい。

6. 財務状況

<ul style="list-style-type: none"> ・公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。
